



## 平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社MORESCO

上場取引所 東

コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 作田 真一 TEL 078-303-9010

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	17,519	15.4	1,325	76.7	1,430	65.7	886	73.2
25年2月期第3四半期	15,180	9.6	750	△20.0	863	△14.7	511	△14.5

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 1,237百万円 (139.9%) 25年2月期第3四半期 516百万円 (△6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	98.71	-
25年2月期第3四半期	60.04	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	20,058	10,614	48.2
25年2月期	15,532	8,486	49.4

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 9,674百万円 25年2月期 7,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	-	12.50	-	12.50	25.00
26年2月期	-	12.50	-	-	-
26年2月期(予想)	-	-	-	17.50	30.00

(注) 平成26年2月期(予想) 年間配当金の内訳 普通配当 25.00円 記念配当 5.00円

直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	21.1	1,900	110.9	2,100	79.7	1,200	81.4	131.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成25年8月12日を払込期日とする有償一般募集による新株式発行1,000,000株および平成25年8月23日を払込期日とする有償第三者割当による新株式発行150,000株を行っております。「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式発行後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	9,668,000株	25年2月期	8,518,000株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	578株	25年2月期	502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	8,975,680株	25年2月期3Q	8,517,502株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成26年1月17日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	9
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	9
(2) 海外売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による金融緩和政策の継続や財政政策を背景に、円安や株価の上昇が進行し、景気は回復基調で推移しました。また、海外では、中国での経済成長の鈍化や東南アジアにおける通貨安、株安等による景気減速の動きが見られるものの引き続き需要は増加傾向にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中国、東南アジアを中心にダイカスト用油剤や難燃性作動液等の特殊潤滑油製品の売上高が増加した他、インドネシアでは平成24年度に生産を開始した紙おむつ用ホットメルト接着剤が売上高増に貢献しました。また利益面では、利益率の高いハードディスク表面潤滑剤の新製品が好調であったことや、為替の影響等により、前年同期を大きく上回る利益を確保することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,519百万円（前年同期比15.4%増）となり、経常利益は1,430百万円（前年同期比65.7%増）、四半期純利益は886百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①日本

##### (特殊潤滑油)

自動車メーカーおよび自動車部品メーカーを主たる顧客とする油剤のうち、難燃性作動液、切削油剤の売上高は、国内自動車生産台数の減少に伴い伸び悩みましたが、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤や熱間鍛造潤滑剤が第2四半期より寄与したこともあり、国内特殊潤滑油の売上高は前年同期を上回りました。

##### (合成潤滑油)

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、中国を中心とする自動車生産の伸びに支えられ、また、ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み、どちらも過去最高の売上高を達成しました。

##### (素材)

流動パラフィン、ポリスチレン向けが需要の復調と新規ユーザー獲得により増加、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けも堅調に推移し、前年同期の売上高を上回りました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートは北米への輸出増により売上高が好調に推移しました。

##### (ホットメルト接着剤)

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けや粘着剤、その他用途は前年同期並みの売上高で推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14,316百万円（前年同期比5.8%増）となり、セグメント利益は、906百万円（前年同期比42.1%増）となりました。

#### ②中国

中国では、国内の自動車生産台数が前年同期を上回り、ダイカスト用油剤、難燃性作動液、ホットメルト接着剤等が前年同期の売上高を大きく上回りました。

当セグメントの売上高は1,649百万円（前年同期比40.8%増）となり、セグメント利益は、155百万円（前年同期比71.4%増）となりました。

#### ③東南アジア

タイでは、インドネシアでの特殊潤滑油の生産開始に伴いインドネシアへの輸出が減少し、全体の売上の伸びが低調に推移していましたが、タイ国内での切削油剤の売上が好調であったことに加え、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤が寄与したため、売上高は前年同期を上回りました。

インドネシアでは、平成24年10月から生産を開始した子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産が軌道に乗ると共に、ダイカスト用油剤や難燃性作動液等、特殊潤滑油の売上も好調に推移しました。

当セグメントの売上高は2,003百万円（前年同期比103.3%増）となり、セグメント利益は、203百万円（前年同期は11百万円のセグメント利益）となりました。

#### ④北米

北米では、好調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客の需要が順調に推移するとともに、ダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また、高温環境下で使用する合成潤滑油や日本から製品を輸入している石油スルホネートの需要も着実に拡大、さらには日華化学㈱から譲り受けた熱間鍛造潤滑剤が売上高に大きく貢献しました。

当セグメントの売上高は338百万円（前年同期比160.2%増）となり、セグメント利益は、21百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,526百万円増加し、20,058百万円となりました。主な要因は、新株式発行等により現金及び預金の増加が883百万円、受取手形及び売掛金が1,612百万円、たな卸資産が392百万円増加したことと、日華化学(株)からの事業譲り受け等によりのれんの増加が828百万円、投資その他の資産が519百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,398百万円増加し、9,444百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,124百万円、長期借入金が860百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2,128百万円増加し、10,614百万円となりました。主な要因は、新株式発行による資本金および資本剰余金の増加がそれぞれ565百万円、利益剰余金が659百万円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,259,160	2,141,723
受取手形及び売掛金	4,653,959	6,265,483
商品及び製品	1,677,139	1,974,856
原材料及び貯蔵品	1,136,361	1,230,488
その他	353,953	510,007
貸倒引当金	△24,118	△50,723
流動資産合計	9,056,454	12,071,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,202,777	1,204,483
機械装置及び運搬具(純額)	929,897	1,006,982
土地	2,387,685	2,418,221
その他(純額)	316,816	318,141
有形固定資産合計	4,837,173	4,947,827
無形固定資産		
のれん	442,604	1,270,136
その他	141,585	194,727
無形固定資産合計	584,189	1,464,864
投資その他の資産	1,053,918	1,573,287
固定資産合計	6,475,280	7,985,977
資産合計	15,531,734	20,057,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,559,373	4,683,232
短期借入金	1,460,420	1,473,920
未払法人税等	91,321	216,368
賞与引当金	359,431	570,271
その他	571,788	759,363
流動負債合計	6,042,333	7,703,154
固定負債		
長期借入金	387,970	1,248,325
長期未払金	64,280	64,280
退職給付引当金	426,814	313,404
その他	124,798	114,641
固定負債合計	1,003,862	1,740,650
負債合計	7,046,195	9,443,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,928	2,090,578
資本剰余金	1,386,018	1,950,668
利益剰余金	4,706,188	5,364,894
自己株式	△328	△460
株主資本合計	7,617,807	9,405,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,884	51,139
為替換算調整勘定	27,520	216,709
その他の包括利益累計額合計	51,404	267,848
少数株主持分	816,328	940,479
純資産合計	8,485,538	10,614,007
負債純資産合計	15,531,734	20,057,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	15,179,880	17,519,055
売上原価	10,899,059	12,235,172
売上総利益	4,280,822	5,283,883
販売費及び一般管理費	3,530,986	3,958,916
営業利益	749,836	1,324,967
営業外収益		
受取利息	5,962	8,599
受取配当金	8,930	9,170
持分法による投資利益	80,563	119,909
その他	49,537	29,269
営業外収益合計	144,992	166,947
営業外費用		
支払利息	18,642	18,922
為替差損	6,570	22,236
株式交付費	—	13,230
その他	6,689	7,647
営業外費用合計	31,902	62,035
経常利益	862,926	1,429,879
特別利益		
持分変動利益	7,885	—
特別利益合計	7,885	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1,296	—
特別損失合計	1,296	—
税金等調整前四半期純利益	869,515	1,429,879
法人税、住民税及び事業税	266,000	363,269
法人税等調整額	62,763	83,851
法人税等合計	328,764	447,120
少数株主損益調整前四半期純利益	540,751	982,759
少数株主利益	29,321	96,741
四半期純利益	511,430	886,018



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	540,751	982,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,850	28,779
為替換算調整勘定	△16,817	176,556
持分法適用会社に対する持分相当額	764	49,336
その他の包括利益合計	△24,904	254,671
四半期包括利益	515,848	1,237,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,005	1,102,463
少数株主に係る四半期包括利益	15,843	134,967

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日至平成24年11月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,905,355	1,168,710	978,550	127,266	15,179,880	—	15,179,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	623,710	2,954	6,996	2,541	636,201	△636,201	—
計	13,529,065	1,171,664	985,546	129,807	15,816,081	△636,201	15,179,880
セグメント利益 又は損失(△)	637,710	90,508	10,702	△14,268	724,652	25,184	749,836

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額25,184千円には、セグメント間取引消去41,561千円、たな卸資産の調整額△16,600千円および貸倒引当金の調整額223千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年3月1日至平成25年11月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,554,872	1,644,815	1,998,718	320,649	17,519,055	—	17,519,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	760,759	4,597	4,488	17,145	786,990	△786,990	—
計	14,315,632	1,649,412	2,003,207	337,794	18,306,045	△786,990	17,519,055
セグメント利益	906,475	155,155	203,350	21,099	1,286,080	38,887	1,324,967

(注) 1. セグメント利益の調整額38,887千円には、セグメント間取引消去37,505千円、たな卸資産の調整額1,402千円および貸倒引当金の調整額△19千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年8月12日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行1,000,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ491,000千円増加しております。また、平成25年8月23日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行150,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ73,650千円増加しております。これらにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,090,578千円、資本剰余金が1,950,668千円となっております。

## 4. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日）

外部顧客への売上高	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学品事業	17,478,750	115.5
特殊潤滑油	7,874,996	115.1
合成潤滑油	1,805,537	139.2
素材	2,786,987	105.2
ホットメルト接着剤	4,118,570	119.3
その他	892,660	99.7
賃貸ビル事業	40,304	93.8
合計	17,519,055	115.4

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高（千円）	4,711,790	433,360	11,924	5,157,075
II. 連結売上高（千円）				17,519,055
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.9	2.5	0.0	29.4

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。